

○「新体制の農業委員と最適化推進委員で地区定例会のスタート」
 (京都府京丹後市峰山地区連絡会議 令和元年7月)(第10回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年7月5日 午後5時～午後6時15分
- 場 所:
- 出席者: 農業委員3人、最適化推進委員5人
旧農業委員1名、旧最適化推進委員1名
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 地理的条件: 中山間地域で大きくは竹野川流域と鱒留川流域に別れた水田地帯で商業エリアと里山エリアに区分される。
- 農用地の特徴: 稲作主流の水田地帯、里山開発の畑地帯もあり
- 農業経営の状況: 水稻主流農家は小規模ながら機械装備があり自己完結型がほとんど。

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業委員会定例会の審議案件の概要報告
- 新旧の委員さんの事務引継及び活動用品の引継調整
- 峰山地区定例会の農業委員の正副代表と最適化推進委員の正副代表の選考・決定
- 峰山地区定例会の重点地区の協議決定(久次区と荒山区)

- 4 活動結果
- 情報・意見交換 **1.5** 時間
 - 担い手への集積 a 増加
 - 遊休農地面積 a 解消
 - 新規就農者 人 支援